臺灣昌新報（夕刊）
三月九日
夕刊分價定一部二錢
編輯兼發行人 佐々木 務
臺北市表町四丁目番地所有
發行所 臺灣日日新報社
基隆支局 基隆市旭町（電話七五）
臺中支局 臺中市寶町（電話〇七）
臺南支局 臺南市錦町（電話五〇）
臺港支局 花蓮港街入船町
大阪支局 大阪市西區阪町通壹丁目（ユタカビルディング內）
東京支局 東京市麹町區有樂町壹丁目（有樂町ビル內）

日支の國交調整

新しき軌道と一致點を發見

兩國新外相の聲明で

【東京九日發】佐藤外相が八日議會で外交方針演說をなしたのと日を同じうして行はれた支那側の王龍惠外交部長の言明に就ては我が外務省は滿足の感心を持つてゐるが、同一明と相俟つて日本と日支兩國に於てなされたものであり、當局の林外相の外交演說及び部長言明に歡迎してゐる。即ち日明中に日支兩國間の懸案に言及し、また聲明の前半は今後日支兩國國交調整に乘出すべき用意あることを聲明し重要意義を有するものであり、その實行方法は主龍惠氏が發表した通りの五原則即ち領土尊重の精神に基く兩國の親善關係の增進、經濟的提携による共榮共存の實現、不當なる障碍の除去、東亞の安定確保に關する共同責任の遂行、國交調整の促進等の具體的合作方法を發見するに於ては必然なりとしてゐる。唯支那側が飽くまで抗日容共の政策を無視し若くは日支三國協調地域たる特殊性を否認するが如き態度に出づる場合は帝國としては到底之を容認し得ないが日本の對支政策轉換を知る支那側としては結局我が空策を洞察して善處すべく我が政府としては益々對支政策の更新に入る方針である

林外相 支那側の言明は兩國はその外交的ゼスチュアに於て新しき軌道と一致點を發見した形であり、抽象的には兩國はその軌道と一致點を發見した形であり、抽象的には兩國はその軌道と一致點を發見した形であり、抽象的には兩國はその

遺棄されたトランクの中に女の頭髪、爪等々

コソ泥をめぐる怪奇

切符の売に如何なる住所？、内台二人組こそ泥をめぐつて喰は過巻く——豊日町西本佐藤、陳南邦華は万華前山寺後で贓品を抱えた被疑者陳生住所不定被平恒吉（二）を捕へ（二）て其の相棒郭國育も住所不定苦石生（二）を逮捕目下取調べ中であるが

被疑者は兩親なく叔父に養はれて居たが昨年夏單身渡台、台北をさまよふうち、一枚の手の資と知り合ひ、資に誘はるるままあちこちと窃盗を働きルンペン生活で食を取り、轉々と各地に移住して不定の生活を續けて居るの中、昨年十一月の或る夜、雨はしとしと降る中を、女連れで台北市内某所に現はれ、同所に住む女の知人に「今晩一晩泊めて呉れ」と賴んだ、女の知人は二人の事とて快く承諾したが、翌朝になつて見ると二人は何處へ行つたか姿を見せず、不審に思つて調べると女の所持品一切が無くなつてゐたので、驚いて警察に届出た

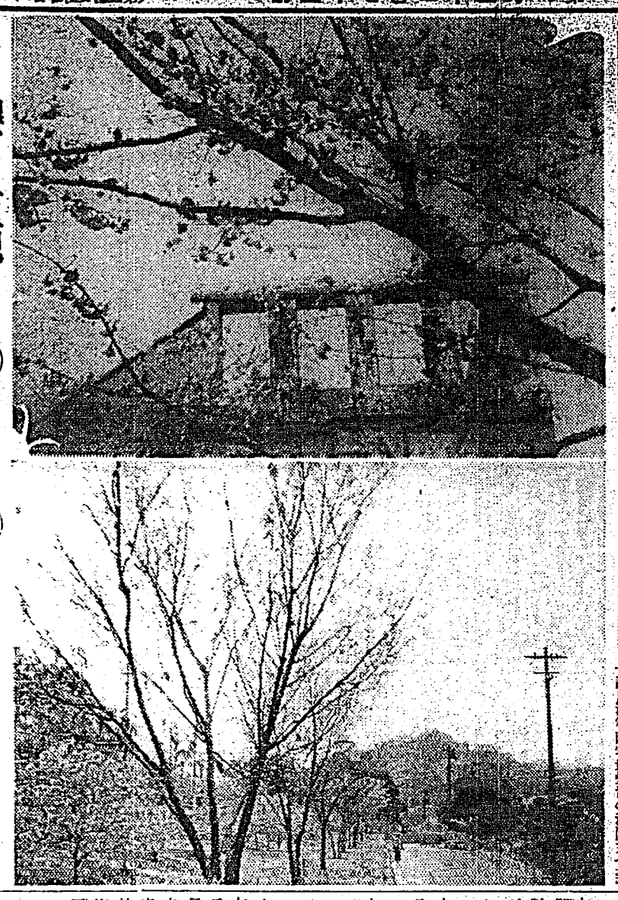
警察では直ちに捜査に着手したが、二人は台北驛から汽車に乗つて逃げたらしいので、各地の警察に手配をなし、被害者からも詳細の点があつたが本年から初年出場選手の參加は三名以下に制限して總督府主催の武道大會となし各出場者は前に豫選者試合として巡行し、警察官の武道精神の發揚につとめる事になつた

全島警察官武道大會
神武天皇祭に擧行
今年から試合方法を改む

【臺北電話】全島警察官武道大會は來る四月三日の紀元節の佳節を下しし、卽八時から大日本武德會臺北地方本部に於て開始され三、四兩日に亘り擧行される本年は第十八回目に當り更に擴時の情勢より見て單に劍道柔道の外に銃劍術をも加へ、從來の試合方法其他を改め出場選手は四段一人三段一段初段各二名の合計七名で從來總數警官でない各出武道師範が出場したり又は他の選手の一人を除き必ず警察官の武道精神の發揚につとめる事になつた

島都の陸軍記念日行事

△連合演習	午前六時	全市	軍隊練習所
	午前八時		男子中等學校
△市内行進	午前八時	公會堂	防衛團
	午前九時	新公園	消防組
		總督府前	壯丁團
		軍司令部前	乘馬會
			軍事協會
			女學校
			小公學校
△防空演習	午前九時	新公園及附近	防衛團幹部見學
	午前十一時		
△官民合同祝賀會	午前十一時三十分	市公會堂	會費五十錢
△講演及記念日の夕	午後七時	市公會堂	軍事講演青訓劇舞劍映畫
	午後十時		



櫻二題
(上)草山
(下)新店
きのふ撮す

英國船アダ號砲撃されて沈沒
國籍不明の一艦船の爲

【ボルドウ八日發同盟】英國船アダ號は國籍不明の一艦船の砲撃を受け火災を起し沈沒した、同船は乗客多數が乗込んでゐる

居眠運轉手に禁錮三箇月
高等法院で求刑

昨年九月二十七日早朝四時台北市大宮町道路上で土林街土林一八三番地を居眠り運轉からはね飛ばし飛び出た石塊を失明させた業務上過失傷害事件の控訴審が九日台北地方法院刑事合議部に於て審理され檢事は二ヶ月の求刑があつた、言渡は十八日である

臺北一高女卒業式

臺北第一高等女學校の第三十一回卒業式は九日午前九時半から同校講堂で擧行された、當日は校長以下職員及び二百四名の卒業生に卒業證書が授與された

強壯純人參精
中味は石ころ！
圖々しい詐欺漢捕はる

八日夕刻臺北市錦町某分雜貨を小脇に抱へて歸宅の途中、被害者は同家の前で見知らぬ男に不意を拾いて南洋拳術で引投取調べたところ、石は本町六ノ四三王財經營にかかる紹興酒壺入參精と稱し其の實を調べたところ、石ころ二個が出入して居たことが判明、詐欺罪で留置された

喧嘩に加勢
懲役二年
檢察官から求刑

臺北地方法院刑事部に於ける傷害致死被告事件の公判は九日午前十時から同院第二陳火係（二）、同州宜蘭郡員山庄（二）八三番地農業李阿水（二）に對する檢察官の論告があつて午前十時半閉廷した

郵船爭議解決の曙光
會社側妥協に出づ

【東京九日發】郵船爭議は既報以來十日目の八日に至り會社側は俄に妥協的態度に出で同日午後四時から丸の内本社で大谷社長、渡邊副社長並に油田取締役が側面的調停に當つた結果、會社側は從來の主張を一擲して全面的に組合側の要求を容れ、左の如き協定書に調印、茲に三月一日以來の大爭議は解決を見るに至つた

一、就業を續けて申訴ない、將來は特に注意し再び繰返へさぬ、この旨近く社會に声明する

二、驚きを起してゐる社員は「語せば判る」管であり且穏しにせず近く交渉して解決する

三、會社の責任者に對しては嚴重調査の上善處する、

といふ點を與へ無援隊も一應これを諒としたがこれは俄然隊との妥協開始への第一歩と見らるる

新竹高女卒業式

【新竹電話】新竹高女卒業式は九日午前九時より講堂に於て擧行、卒業生八十三名中受賞者は左の通り

△知事賞　稻津　一

臺北州地方改良講習會

臺北州地方改良講習會は九日午前九時臺北廳舍會議室に於て開會式を擧げ、講習第一日を開始した

本社工場參觀

臺北市松山公學校第二百七十名

▲内台親しく（二）便新設に九日午前時四五分臺北を出發、乘客は松本與作、小倉東、二谷榮二郎、金丸藏次郎、谷山雷、池田啓三、渡田力の諸氏

▲島内線切り便は九日午前八時三分臺北を出發、客は淺井保次郎（基隆）土民等四名

鐵道部空中測量隊
けふ高雄へ飛ぶ
三M機に搭乘して

鐵道部の全島空中測量隊は九日午前八時十五分石上測量主任の操縦するフオッカー三M機に搭乘、第一陣先づ高雄に向つて出發した、搭乗者は小山、和田兩測量士等八名、正木隊長の總指揮及び小田測量課長、中村旅客係長、後、西川兩測量技師の撮影班で合計八名、竹東附近、巧妙を經て三叉に出で山線の起伏線を見ながら豐原を經て龍井に出で更に海岸に出で台南に到着、午前十時四十六分無事高雄に到着した、正午高雄發ガランビを迂回して再び海岸に出で台東より台東線上を飛んで一時半花蓮港に着陸した、これより空路タロコ、臨時道路を經て午後三時台北に歸着する豫定である

黄金の延棒を米國へ
嚴戒裡に神戸から輸送

【神戸九日發本社特電】アメリカへ輸送の金の延棒五百六万平八百十六万千八百万円は九日銀大阪支店大金庫から六台のトラックに積み大阪神戸兩府、騎馬警部の嚴重な保護に阪神國道を、十時過ぎ神戸港第四突堤警部の渡間丸へ到着一切グレンを使はず荷積直に船倉に納め午後三時サン船揃りで一箇づつ船底にある貨重品倉庫へ完全に納め午後三時サンフランシスコに向け出帆した

比島の飜意を促す
體協評議會の善後策

【東京九日發】體協評議會では九日午後六時から事務所に評議員を招き東洋大會問題について特に大阪より姫本信一氏が出席し比島側が明年度大會開催の延期を申出たに對し態度を協議したが懸案今一應比島總督に對し飜意を促し極力明年度大會に參加する樣努力することになり、その回答如何によつて第二段の策を研究することとなつた

總督へ、生産黨
官制改正建白

去日本橋茶寮會議所に於ける臺灣關係の懇談會は九日午前十一時過ぎ、西川、甲斐の三氏、小林總督を訪問、一時間餘に亘り臺灣、市制、官制改正の上、官紳上京の目的を説明する所あつて各會を網羅する所謂生産黨を組織し總督を中心とする官制改正運動を起すべく提出し、時機に應じその内容を發表する筈であつた

八幡製鐵所で
一割の昇給

【福岡九日發電通】八幡製鐵所

滋刺たる青年採用
臺北州の新方針

臺北州の經營に屬した費用に關八万円及び府の補助金六万二千円合計二十五万二千円により、來る二十五日午前から川端橋畔に於て盛大な開通式を擧行する筈、同市の發展のためには最も重要な道路なので、こんどのでた州當局の英斷に對し市民は感謝の意を表するところである

川端橋竣工
廿五日開通式擧行

臺北州地方改良講習會は九日午前九時臺山廳舍會議所にて開會式を擧げ、講習第一日を開始した

金儲
佛壇佛具

近づくと彼岸の御盛花市京町一丁目六六松原網具店

佛壇
佛具

昼の門を開いて彼岸盛花市京町一丁目六六松原網具店

春蒔タネ各種新着
濱町アバート和室より

春の正絹帯
新婚婦人子供服地

玄米精乳と牛乳
金儲

洋服タンス
コークスと木炭は

平戸の潤味噌
正絹帯

人參トーハ
蝶番ひ

七つ下ってから飲むものなんて
カルピス

城ヶ島の白い水仙
ビクター

御神火夜曲
コロムビア

日本最高基準品
パピリオ

一流パウダア五円以上のと、一度比べて下さい。

金鶏水
金鶏水

お出かけ前にゼヒ一滴！

臺日案内

書籍
- 常用語辭典　定價貳圓　送料拾八錢　臺北市榮町壹丁目　新高堂書店

醫院
- 小林醫院　臺北大和町電話四武番　兒科內科

内地土産
- 芭蕉煎餅　下江商店　御成町一ノ一六　電話九九六番

樂器
- ピアノオルガン賣入　古臺北松町二ノ三　電二四九二小林

寫眞
- オリエンタル　乾板と現像紙　臺北市榮町一ノ一　商會
- カメラ新古交換賣入　榮町二ノ一　フタバ寫眞機部

時計眼鏡
- メガネ專門　金光堂　榮町二ノ一　電話九九八番

料理屋
- 宴會　大勉強　魚文　大家向き　榮町五ノ八

料理
- 辨當　本家仕出し　電話九四〇五番
- 新入學の御用意は　本町のエビヤ文具店で

紙文房具

金融
- 電話演賣　商品券　榮町二ノ四（電二八八）　臺北支店
- 商品券　債券　電話賣　臺北市榮町一ノ一　電話九九八七番
- 電話商品券　金融　榮町二ノ一　電話二三五番　正和商會店

藥種商
- 淋病に黒燒　あけびの黒燒　臺北市大正通二ノ一〇番　漢方藥專賣　臺北醫學研究所

月やく
- 吸入用酸素　電話九六七七　臺北市榮町一ノ一　中央藥局

洋服
- 洋服と制帽の御用命は　本町二ノ一六一一番　ミカド洋服店

電器機具
- 最新式電燙　二三五番　パーマネント　ウエーブ機完成　見本御覽次第電話

雜貨
- パラソル　ハンドバッグ　新柄着　晴雨傘女學生　各色各形數百種

附件
- 絹長靴下　婦人子供普通下着　各色各形數百種　村井商行
- 春子供服　スカート最新型御揃　婦人スエータ　村井商行
- ランドセル　手提鞄生徒帽　學生帽小公學生指下　村井商行
- 洋服タンス　組立式　衣類の生地　洋服タンス　月賦　日本橋濱町本部
- コークスと木炭は　西門町　竹林商店　電三〇八四

風味の良い
- 平戸の潤味噌　濱町アバート和室より九圓　二月廿五日開通式擧行　臺北州當局の英斷に感謝　佛壇佛具　昼の門を開いて彼岸　盛花市京町一丁目六六松原網具店

春蒔タネ各種新着　濱町アバート和室より九圓　二月廿五日開通式擧行　臺北州當局の英斷に感謝　春の新婚婦人子供服地　玄米精乳と牛乳　金儲　洋服タンス　コークスと木炭は　佛壇佛具　昼の門を開いて彼岸　盛花市京町一丁目六六松原網具店

春正絹帯
- 特價三割引　臺北市京町　秋本呉服店
- 春の新婚婦人子供服地　臺北市京町　秋本呉服店
- 正絹帯　特價三割引　臺北市京町　秋本呉服店

喀血内出血外傷
トロムボゲン
- 血痰　鼻血　月經過多等一般出血に對し極めて短時間に血液凝固　血栓形成を促進す
- 内服　強力　止血劑　各大學病院各科實用
- 一〇錠　七〇〇　三〇錠　二一〇〇　一〇〇錠　六八〇
- 「喀血の自源」「内出血の治療」
- 販賣元　東京　吉澤商店

今晩の映画

- ◉新世界館　午後十二時半上映　奇傑ジョーンズ　ユニバーサル　馬術　ジョーンズ　爆弾
- ◉大世界館　午後十二時半上映　自由結婚　死刑か無罪か　探偵　男一代　色魔　復讐　御殿
- ◉芳乃館　午後十二時半上映　自由結婚　死刑か無罪か　探偵　男一代　色魔　復讐　御殿
- ◉図書館　午後一時上映　自由結婚　死刑か無罪か　探偵　男一代　色魔　復讐　御殿
- ◉タイゲキ　午後一時半上映　自由結婚　死刑か無罪か　探偵　男一代　色魔　復讐　御殿

各地温度（三月九日午前十時）

	最高	最低
台北	一二・七	一〇・七
台東	二三・二	一二・二
花蓮港	二四・〇	一二・〇
台南	二三・五	一八・五
阿緱	二三・八	一九・二
恒春	二三・〇	一九・〇
澎湖島	一九・三	一二・二
花蓮港	二二・三	一二・〇
宜蘭	二二・二	一二・〇
基隆	一九・〇	一二・〇
淡水	二二・〇	一二・〇

あすの天氣

潮汐（十日）

	滿潮	干潮	滿潮	干潮
基隆	午前	午前	午後	午後
	九時三〇分	二時五〇分	九時五〇分	二時二〇分
淡水	午前	午前	午後	午後
	九時四五分	二時一〇分	九時三〇分	二時二〇分

曉星雙紙（4）

（紙上映）

田中貢太郎作
河野通勢畫

雜誌紹介

▲新生（三月號）　東京學生藝術聯盟の機關雜誌。（定價二十五錢、東京神田區淡路町）

▲青年の發言（三月號）　青年の發言機關。（定價二十五錢、東京神田區淡路町）

▲作家時評（三月號）　三七年度文壇の打診（發行所同上）

▲婦人公論（三月號）　婦人問題の權威雜誌。（定價二十錢、東京芝區三田四國町）

▲婦人畫報（三月號）　婦人問題の權威雜誌。（定價二十錢、東京芝區三田四國町）

▲婦人倶樂部（三月號）　婦人問題の權威雜誌。（定價二十錢、東京芝區三田四國町）

▲婦人之友

領土主權保持完璧
國際合作乃保平和
王新外長聲明外交方針

南京八日電。新任外交部長王寵惠氏。八日午前十時初登廳正式就任午後五時引見內外記者團。敍就任之禮並闡今後外交方針。發表聲明書如左。

近世國際關係之密接。遠非昔日之比。捨國際合作。謀各國之繁榮。不能確保世界平和。國際合作之促進。最要让意國民間之感情。凡阻壹双方之好感者。宜先努力芟除。蓋國民與國民之間。賴誠摯之感情。始見合作之萌芽。因此實行。生合作後之事實。國際合作。必經如斯之段階。乃能成功。中國對外政策。如中央及蔣委員長。隨時闡明。國家之領土與主權。必要保持完璧。國際關係。必以平等互惠爲基礎。在此原則之下。沿和平之路線。力圖友誼增進。凡政治的協調。經濟的合作。必本双方利益之原則。以求相互關係之日密接。此於國際交涉。爲最合理的原則。又卽我政府決定之對外方針。余當此次就任外交部長。痛感責任之重大。自當一本此趣旨。照國際正義。從外交之常軌。實現政府既定之政策。而中外關係。又賴國際合作。以獲相互利益之發展。努力邁進云。

廿八億豫算
經衆議院可決
除小會派外皆贊成

東京八日電。八日衆議院本會議。午後一時十五分開會。豫算案上程之日。諸場傍聽席。滿員以上。久無如此緊張。眞入日程一、昭和十二年度歲入歲出總豫算案。

片山哲氏（第一）曰。一、軍事費增大。爲不得已。而認之事。一、關於獎養國防。不願國民生活之安定之事。一、本諸金融資本爭覇。而爲豫算之事。觀此三點。主張返上本豫算案。欲度現下之非常時局。捨破壞財經。參加勞働者於產業。此外無法究以國防費增大。謀解危機。經濟敎甚。現內閣外交。可謂獎養國防依存政策所謂獎養國防。不時成脅大衆之生活。此爲基礎。編成軍事豫算。實非其宜。以上見地。故主張本豫算之重編。

勝正憲氏（民政）曰。本豫算案。只於馬場財政遺產之豫算案。若干修正。國策別無可觀。不禁不滿。然此立脚於國家之大局本豫算之成立。鑒之內外緊迫之事態。亦非得已而贊成之。但一、本豫算實行。恐物價急激騰貴。國民生活安定破壞。一、國民負擔激增。爲最切要。一、大軍事費之消化。其原料之等辨。毋受惡影響以上均要努力。政府速宜確立將來財政之根本。關明於天下。以安國民一般之不安。卽將附帶決議趣旨。敷衍整告。而後贊成。

由谷壽治氏（東方）曰。國防當諦。備與國民生活統合擴大。林內閣政策此點無所願慾。修正豫算案。未賛的。贊成不得。

大口喜六氏曰（政友）。先證附帶決議文。而後言曰。本豫算。比前內閣編成豫算。全額減二億圓餘。陸海軍豫算。毫不減少。不謀安定民生。民生安定之本。在國家財政之健全。乃歲出年々增加。歲入不伴。財政健全難望。一般國民負擔增加。非常時局故附條件贊成。

次中村三之丞（民政）。東卿實（政友）豐田收（昭和）。椎尾辨匡（第一）。野中寶（情）。稱世界市場法貨行情爲基礎。將來所貿行情。或因世界市場行情變動云云。

帝燃會社法案
九日提出議會

東京九日電。伍堂前相。關於株式會社法。自就任以來。希圖多少修正。卽初年度大會延期。協議該後策。結局決定請比島體協。更一飜意。極力慫慂明年度參加。待其回答如何。研究第二段策云。

買金行情
法銀發行

巴里八日電。法國銀行。八日買金公定行情。一砬二四、五〇九。法五二七。一法八〇。但卽一弗二十一法八〇。

配蕉頻繁
恐價跌落
聯合會折衝

本年四月起。內臺航路就航船。欲於偶數日隔日出船會社則一箇月間不配芭蕉。結局船會社與聯合會双方俱各讓步。每隔三日及隔一日交互實施。乃能便利也

臺中州開參事會
附議追加豫算其他

臺中州參事會。八日午後一時。開于知事公室。松岡知事。佐治內務。中平警務兩部長。宇野地方課長。高橋社會教育主事。土光勸業課長。阿部土木課長。本多屬。參事會員六名中。山口。安田。小室。張泉生四氏出席。附議事項

一號議案　州參事會々議規則制定件

二號議案　十一年度歲出入追加豫算件。

三號議案　十一年度州豫算各項之金額流用件

四號議案　州參事會員權限所屬事項之一部。州知事專決處分件。

而追加　豫算額四萬九千百六圓。此爲家畜傳染豫防費九千六圓。國語講習所補助費三萬八千六百圓。土木營繕費一千五百圓云

東港郡壯團
擧檢閱式
一等萬丹

高雄州東港郡下壯丁團檢閱式。去七日午前八時起在東港公學校大運動場擧行。臨席官有百九州保安係長代理。警務部長。來賓郡協議會員。郡內各街庄長助役其他官民多數臨場。和田課長以下警察幹部。及壯丁團十一團々員千有餘名參集後。由和田課長。述開會辭。次揚揚國旗。合唱國歌。遙拜皇居。返納優勝旗。授與優勝旗。然後開始檢閱。擧分列式報告審查成績。授與優勝旗。一等萬舟壯丁團。二等新庄壯丁團。三等新庄壯丁團。次和田檢閱官講評後。石丸警務部長代理訓示。來賓祝辭。壯丁團代表答辭。正午。盛會裡畢會。

臺中
擧報國祭

愛國婦人會臺中州支部。六日臺中公會堂。午前十時擧式。開式辭後。國歌合唱。令旨奉讀。天皇。皇后兩陛下萬歲。式後參拜臺中神社。午後七時。在坂本府外事課長一番瀨府農務課長。暨關係者臨席本社有鈴木社會部長。上田企畫部長。岡山。馬場兩記者出席。由吉田一行。談在遲羅之兩國藝術交歡其他。至九時半散會。

訪總督軍司令官
臨歡迎會

日遣親善使節吉田晴風氏一行。八日上午十一時。訪問軍司令官官邸。晤畑軍司令官。暢談三十分。下午三時。由三卷。貝山佐藤（佐）。佐藤（奄牛）。平野諸氏同道。訪問小林總督。在第一應接室。受來賓謝應。由吉田氏談在遲羅受歡迎其他。至下午四時辭出。一行臨機道旅館。官民共開之歡迎茶話會。首由石井市尹。述歡迎辭。次三卷俊夫氏叙穩。吉田氏述謝。並述遲羅現狀。及對日本之親善等。七時盡歡散會。

新舞臺俳優
傷害事件
出於情婦鬪口

在臺北市建成町　新舞臺劇場。開演中之新舞社俳優鄭德貴。年二十七。吳傳年二十。去八日下午零時二十分。演劇中。爲情婦口角。終川劇刀互鬪。吳後頭部負數傷。昏倒在地。加害者鄭當場被捕。一時騷擾觀客。大呈混雜。據聞傷害原因。卽鄭不在中兩名情婦口角。由吳仲裁。其後鄭之情婦歸宅。將情告鄭。其時鄭誤解被其虐待。乃出是擧云。

臺中
擧報國祭

在臺北市建成町　新舞臺劇場。開演中之新舞社俳優鄭德貴。年二十七。吳傳年二十。去八日下午零時二十分。演劇中。爲情婦口角。終川劇刀互鬪。吳後頭部負數傷。昏倒在地。加害者鄭當場被捕。一時騷擾觀客。大呈混雜。據聞傷害原因。卽鄭不在中兩名情婦口角。由吳仲裁。其後鄭之情婦歸宅。將情告鄭。其時鄭誤解被其虐待。乃出是擧云。

吉田親善使節
本社主催
開座談會

日遣親善使節吉田晴風氏一行。完了親善使命。去七日來北。于十一、十二兩日。在公會堂奏技。而本社爲幹旁使節一行。去八日下午七時半。在本社會議室。開歡迎座談會。有吉田晴風。丹羽善之助。花柳德兵衛。藤蔭千枝。及大亞細亞協會臺灣支部三卷。佐藤（佐）貝山諸氏。坂本府外事課長一番瀨府農務課長。暨關係者臨席本社有鈴木社會部長。岡山。馬場兩記者出席。由吉田一行。談在遲羅之兩國藝術交歡其他。至九時半散會。

南洋邦人眞珠漁業
受荷蘭極度壓迫
香川縣試驗船寄港談

香川縣水產試驗船薰丸。大七十六噸。去七日夜。自馬尼拉寄港高雄。該船於客臘月一日。由香川縣試驗場長秋山保次郎技師搭乘。自高松。開向新嘉坡。赴開在蘇拉當拉灣。調查白蝶貝及眞珠貝漁業之該縣漁夫百餘名。航程。萬餘浬。由南洋各地。右據秋山技師。所談如下。

蘇拉當拉灣之白蝶貝漁業。近始勃興。爲邦人最適漁業。現有漁船七八十隻。均由內地出漁。斯業與南洋之鮪鰹鰺等各種漁業。前途均有厚望。新嘉坡諸傳日本。將進出經工船漁業。英人間大起衝動。且下從事於南洋漁業之邦人計有二千餘名。尙未達到二十分之一。將來雖有進出餘地。然各地均恐被日本獨占。異常警戒中。於事業遂行上。頗感覺困難。又荷蘭在南洋之領土。大部分爲華僑勢力所支配。惟新嘉坡尼亞地方。華人較少。土地未開。當政府。將投自國資本開發。是以日本。雖欲與之交涉。租借地。諒亦難成。該島於農、林、鑛、水、各種產業。均富天惠。其種無盡藏。實好評。其受賞者。發電所。業已興工建設。然爲土地問題。一部業主反對。不服于市當局所斡旋之地價。惟該斡數無多。工事雖無眞接支障。市當局。將斷然適用土地收用法。已向監督官廳申請中云。

臺灣酒精專賣
將自本年九月實施
買收製糖會社所製者

大藏省自十二年　度起。決定實施　酒精專賣。臺灣亦欲追隨。對於島內消費。施行專賣。其法　乃將製糖會社所製者。買收　而專賣　十二年度　按自九月　一日實施。其經費　豫算約三十萬圓。無水酒精之　揮發油强制混用。欲自十三年　度實施。此事並備尙有餘日。而一般酒精。則因急速。

臺中州燈火
管制演習

臺中市　燈火管制。業于去六七兩夜。擧行演習。因指導得宜。及市民對非常時之自覺。已得相當成績。而九日午後六時。對全州下。實施燈火管制。其所想定者。乃九日　帝國與某國間。國交斷絕。綜合諸情報。臺灣島正　受敵機空襲之情勢。期于九日午後六時。實施燈火管制。又警報及解除。由州　以電音及警察電話發令云。

南州壯團檢閱
古坑庄勝

臺南州下優良壯丁團檢閱如既報。以去八　朝六時半在臺南　公園施行。出場者二十二團。千六百　四十九名。整列後。合唱國歌。另族遙拜宮城畢。乃由昨年獲勝之臺南第一團。返納優勝旗。七時起　開始檢閱。臺南第一團。先行小隊教練。於是由北門佳里團起。順次檢點一切。至正午一部告終。午餐後。一時三十分再開。經西村檢閱官及　採點官第二聯隊長遠中尉。稻岡。山口。重水。村田。松下五連尉。詳細採點。及二時檢閱畢。一等被斗六郡古坑庄所獲。次臺南第一團。東石郡鹿草團。虎尾郡二番團。嘉義郡新巷團。優勝者。川村知事授與優勝旗。繼行勤續壯丁表彰。川村知事訓示。二時餘解散。

臺中州參事會
開座談會

臺中州參事會。八日午後一時。開于知事公室。松岡知事。佐治內務。中平警務兩部長。宇野地方課長。高橋社會教育主事。土光勸業課長。阿部土木課長。本多屬。參事會員六名中。山口。安田。小室。張泉生四氏出席。附議事項

一號議案　州參事會々議規則制定件

二號議案　十一年度歲出入追加豫算件。

三號議案　十一年度州豫算各項之金額流用件

四號議案　州參事會員權限所屬事項之一部。州知事專決處分件。

而追加　豫算額四萬九千百六圓。此爲家畜傳染豫防費九千六圓。國語講習所補助費三萬八千六百圓。土木營繕費一千五百圓云

陸軍記念日
淡水行事

淡水郡役所。街役場。在辦軍人會主催。訂本十日陸軍記念日。決定　諸行事如左。

一、燈火管制　三月九日下午七時前後。約二十分間開始信號（警戒警報）。非常信號（空襲警報）。解除信號（鳴汽笛三十秒一回）。二、執旗行列　十日午前八時。集于淡水女子公學校庭。式序。揭揚國歌。吹奏國歌一回。合唱國歌二回。敬禮。開始行動。巡禮至男子公學校。三唱萬歲。乃解散。

三、記念日　祝賀會（官民合同）。十日正午。會場假淡水公會堂。

陸軍記念日
淡水行事

淡水郡役所。街役場。在辦軍人會主催。訂本十日陸軍記念日。決定　諸行事如左。

一、燈火管制　三月九日下午七時前後。約二十分間開始信號（警戒警報）。非常信號（空襲警報）。解除信號（鳴汽笛三十秒一回）。二、執旗行列　十日午前八時。集于淡水女子公學校庭。式序。揭揚國歌。吹奏國歌一回。合唱國歌二回。敬禮。開始行動。巡禮至男子公學校。三唱萬歲。乃解散。

三、記念日　祝賀會（官民合同）。十日正午。會場假淡水公會堂。

陸軍記念日
淡水行事

淡水郡役所。街役場。在辦軍人會主催。訂本十日陸軍記念日。決定　諸行事如左。

一、燈火管制　三月九日下午七時前後。約二十分間開始信號（警戒警報）。非常信號（空襲警報）。解除信號（鳴汽笛三十秒一回）。二、執旗行列　十日午前八時。集于淡水女子公學校庭。式序。揭揚國歌。吹奏國歌一回。合唱國歌二回。敬禮。開始行動。巡禮至男子公學校。三唱萬歲。乃解散。

三、記念日　祝賀會（官民合同）。十日正午。會場假淡水公會堂。

高雄州農會
功勞表彰

高雄州農會。本年　度踏耕改善事業功　勞者表彰式。八日午前十時。擧于州會議室。由內海會長。對左記模範業主六名。個人四名。各授與表彰狀並金一封。然後訓示。十時半閉式。

▲地主鑓木火。王述成。韓哲鄉。陳超。蔡金德。李開山。▲個人王阿金。刁清連。朱鹿。林添丁

陸軍記念日
玉里行事

第三十一回陸軍記念日。花蓮港廳玉里庄行事。於日前東遊商會。決定如左。開磋商會。決定如左。

▲防衛演習　十日午前四時至同六時。實施燈火管制竝一般防衛演習。

▲擬戰　同日午前六時。至同七時。擧于玉里庄近附。參加人員。爲軍隊。鄉軍。青訓。警察官。青年團。壯丁團。小公學校上級生等。計七百餘名。

臺中州燈火
管制演習

臺中市　燈火管制。業于去六七兩夜。擧行演習。因指導得宜。及市民對非常時之自覺。已得相當成績。而九日午後六時。對全州下。實施燈火管制。其所想定者。乃九日　帝國與某國間。國交斷絕。綜合諸情報。臺灣島正　受敵機空襲之情勢。期于九日午後六時。實施燈火管制。又警報及解除。由州　以電音及警察電話發令云。

南州壯團檢閱
古坑庄勝

臺南州下優良壯丁團檢閱如既報。以去八　朝六時半在臺南　公園施行。出場者二十二團。千六百　四十九名。整列後。合唱國歌。另族遙拜宮城畢。乃由昨年獲勝之臺南第一團。返納優勝旗。七時起　開始檢閱。臺南第一團。先行小隊教練。於是由北門佳里團起。順次檢點一切。至正午一部告終。午餐後。一時三十分再開。經西村檢閱官及　採點官第二聯隊長遠中尉。稻岡。山口。重水。村田。松下五連尉。詳細採點。及二時檢閱畢。一等被斗六郡古坑庄所獲。次臺南第一團。東石郡鹿草團。虎尾郡二番團。嘉義郡新巷團。優勝者。川村知事授與優勝旗。繼行勤續壯丁表彰。川村知事訓示。二時餘解散。

華船咸通號
擅入外埃
廻航高雄送局

既報中國汽船咸通丸。不法入澎湖島外坎附近。去八日午後五時二十分。有海軍波多野　大尉外下士官一名。馬公憲兵隊伍長等。乘該船檢查。船艙軍監視。廻航于高雄繫留于港內七號浮橋。卽有鈴木州高等課。清水署兩高等主任。及川上憲兵分隊所長外憲兵多數。臨檢該船。是夕封船長外船員二十八名。禁止上陸。翌九日朝。將船長江泉駒吉。周朝松。福安都。以上皆贈金一封。來年慶再申請中云。

基隆發電所
土地問題
將適用收用法

基隆市　八斗子。臺電火力發電所。業已興工建設。然爲土地問題。一部業主反對。不服于市當局所斡旋之地價。惟該斡數無多。工事雖無　眞接支障。市當局。將斷然適用土地收用法。已向監督官廳申請中云。

松山昭明廟
賽花燈續報

既報松山　昭明廟。日前於廟內廟庭　賽花燈。連續三夜。參觀者數千人。甚得好評。其受賞者。盛等左。一等陳坤。二等松庫。二等信女。三等松山。三等信女。周朝松。福安都。以上皆贈金一封。來年慶再申請中云。

嘉郡米統
總代會詳誌

嘉義郡米穀統制組合。第一回通常總代會。八日午前十時。開於郡役所會議室。是日州勸業課八幡屬

澎湖廳豫算
將來基準
林田廳長談

澎湖廳。明年度　豫算所關澎湖廳。豫算各獨立。至不至如向來　之豫算爭奪。因而十二年度豫算。爲將來之基準。如東海岸二廳。將來經濟的發展有望卽有財政之確保。不願國民生活之安定之事。一、本諸金融資本爭覇。而爲豫算之事。觀此三點。主張返上本豫算案。欲度現下之非常時局。捨破壞財經。參加勞働者於產業。此外無法究以國防費增大。謀解危機。經濟敎甚。現內閣外交。可謂獎養國防依存政策所謂獎養國防。不時成脅大衆之生活。此爲基礎。編成軍事豫算。實非其宜。以上見地。故主張本豫算之重編。

勝正憲氏（民政）曰。本豫算案。只於馬場財政遺產之豫算案。若干修正。國策別無可觀。不禁不滿。然此立脚於國家之大局本豫算之成立。鑒之內外緊迫之事態。亦非得已而贊成之。但一、本豫算實行。恐物價急激騰貴。國民生活安定破壞。一、國民負擔激增。爲最切要。一、大軍事費之消化。其原料之等辨。毋受惡影響以上均要努力。政府速宜確立將來財政之根本。關明於天下。以安國民一般之不安。卽將附帶決議趣旨。敷衍整告。而後贊成。

由谷壽治氏（東方）曰。國防當諦。備與國民生活統合擴大。林內閣政策此點無所願慾。修正豫算案。未賛的。贊成不得。

大口喜六氏曰（政友）。先證附帶決議文。而後言曰。本豫算。比前內閣編成豫算。全額減二億圓餘。陸海軍豫算。毫不減少。不謀安定民生。民生安定之本。在國家財政之健全。乃歲出年々增加。歲入不伴。財政健全難望。一般國民負擔增加。非常時局故附條件贊成。

次中村三之丞（民政）。東卿實（政友）豐田收（昭和）。椎尾辨匡（第一）。野中寶（情）。稱世界市場法貨行情爲基礎。將來所貿行情。或因世界市場行情變動云云。

帝燃會社法案
九日提出議會

東京九日電。伍堂前相。關於株式會社法。自就任以來。希圖多少修正。卽初年度大會延期。協議該後策。結局決定請比島體協。更一飜意。極力慫慂明年度參加。待其回答如何。研究第二段策云。

買金行情
法銀發行

巴里八日電。法國銀行。八日買金公定行情。一砬二四、五〇九。法五二七。一法八〇。但卽一弗二十一法八〇。

配蕉頻繁
恐價跌落
聯合會折衝

本年四月起。內臺航路就航船。欲於偶數日隔日出船會社則一箇月間不配芭蕉。結局船會社與聯合會双方俱各讓步。每隔三日及隔一日交互實施。乃能便利也

竹州參事會

新竹州。去九日午前十時。擧于州會議室。由內海會長。對左記模範業主六名。個人四名。各授與表彰狀並金一封。然後訓示。十時半閉式。

▲地主鑓木火。王述成。韓哲鄉。陳超。蔡金德。李開山。▲個人王阿金。刁清連。朱鹿。林添丁

高雄州農會
功勞表彰

高雄州農會。本年　度踏耕改善事業功　勞者表彰式。八日午前十時。擧于州會議室。由內海會長。對左記模範業主六名。個人四名。各授與表彰狀並金一封。然後訓示。十時半閉式。

▲地主鑓木火。王述成。韓哲鄉。陳超。蔡金德。李開山。▲個人王阿金。刁清連。朱鹿。林添丁

臺灣酒精專賣
將自本年九月實施
買收製糖會社所製者

大藏省自十二年　度起。決定實施　酒精專賣。臺灣亦欲追隨。對於島內消費。施行專賣。其法　乃將製糖會社所製者。買收　而專賣　十二年度　按自九月　一日實施。其經費　豫算約三十萬圓。無水酒精之　揮發油强制混用。欲自十三年　度實施。此事並備尙有餘日。而一般酒精。則因急速。

華船咸通號
擅入外埃
廻航高雄送局

既報中國汽船咸通丸。不法入澎湖島外坎附近。去八日午後五時二十分。有海軍波多野　大尉外下士官一名。馬公憲兵隊伍長等。乘該船檢查。船艙軍監視。廻航于高雄繫留于港內七號浮橋。卽有鈴木州高等課。清水署兩高等主任。及川上憲兵分隊所長外憲兵多數。臨檢該船。是夕封船長外船員二十八名。禁止上陸。翌九日朝。將船長江泉駒吉。周朝松。福安都。以上皆贈金一封。來年慶再申請中云。

基隆發電所
土地問題
將適用收用法

基隆市　八斗子。臺電火力發電所。業已興工建設。然爲土地問題。一部業主反對。不服于市當局所斡旋之地價。惟該斡數無多。工事雖無　眞接支障。市當局。將斷然適用土地收用法。已向監督官廳申請中云。

松山昭明廟
賽花燈續報

既報松山　昭明廟。日前於廟內廟庭　賽花燈。連續三夜。參觀者數千人。甚得好評。其受賞者。盛等左。一等陳坤。二等松庫。二等信女。三等松山。三等信女。周朝松。福安都。以上皆贈金一封。來年慶再申請中云。

嘉郡米統
總代會詳誌

嘉義郡米穀統制組合。第一回通常總代會。八日午前十時。開於郡役所會議室。是日州勸業課八幡屬

澎湖廳豫算
將來基準
林田廳長談

澎湖廳。明年度　豫算所關澎湖廳。豫算各獨立。至不至如向來　之豫算爭奪。因而十二年度豫算。爲將來之基準。如東海岸二廳。將來經濟的發展有望卽有財政之確保。不願國民生活之安定之事。一、本諸金融資本爭覇。而爲豫算之事。觀此三點。主張返上本豫算案。欲度現下之非常時局。捨破壞財經。參加勞働者於產業。此外無法究以國防費增大。謀解危機。經濟敎甚。現內閣外交。可謂獎養國防依存政策所謂獎養國防。不時成脅大衆之生活。此爲基礎。編成軍事豫算。實非其宜。以上見地。故主張本豫算之重編。

勝正憲氏（民政）曰。本豫算案。只於馬場財政遺產之豫算案。若干修正。國策別無可觀。不禁不滿。然此立脚於國家之大局本豫算之成立。鑒之內外緊迫之事態。亦非得已而贊成之。但一、本豫算實行。恐物價急激騰貴。國民生活安定破壞。一、國民負擔激增。爲最切要。一、大軍事費之消化。其原料之等辨。毋受惡影響以上均要努力。政府速宜確立將來財政之根本。關明於天下。以安國民一般之不安。卽將附帶決議趣旨。敷衍整告。而後贊成。

由谷壽治氏（東方）曰。國防當諦。備與國民生活統合擴大。林內閣政策此點無所願慾。修正豫算案。未賛的。贊成不得。

大口喜六氏曰（政友）。先證附帶決議文。而後言曰。本豫算。比前內閣編成豫算。全額減二億圓餘。陸海軍豫算。毫不減少。不謀安定民生。民生安定之本。在國家財政之健全。乃歲出年々增加。歲入不伴。財政健全難望。一般國民負擔增加。非常時局故附條件贊成。

次中村三之丞（民政）。東卿實（政友）豐田收（昭和）。椎尾辨匡（第一）。野中寶（情）。稱世界市場法貨行情爲基礎。將來所貿行情。或因世界市場行情變動云云。

帝燃會社法案
九日提出議會

東京九日電。伍堂前相。關於株式會社法。自就任以來。希圖多少修正。卽初年度大會延期。協議該後策。結局決定請比島體協。更一飜意。極力慫慂明年度參加。待其回答如何。研究第二段策云。

買金行情
法銀發行

巴里八日電。法國銀行。八日買金公定行情。一砬二四、五〇九。法五二七。一法八〇。但卽一弗二十一法八〇。

配蕉頻繁
恐價跌落
聯合會折衝

本年四月起。內臺航路就航船。欲於偶數日隔日出船會社則一箇月間不配芭蕉。結局船會社與聯合會双方俱各讓步。每隔三日及隔一日交互實施。乃能便利也

竹州參事會

新竹州。去九日午前十時。擧于州會議室。由內海會長。對左記模範業主六名。個人四名。各授與表彰狀並金一封。然後訓示。十時半閉式。

▲地主鑓木火。王述成。韓哲鄉。陳超。蔡金德。李開山。▲個人王阿金。刁清連。朱鹿。林添丁

株式
大阪短期前場

銘柄	限	前	後	引
帝人新	三	二四〇	二四一	二四一
東洋レ	三	二四〇	二四一	二四一
日曹	三	二四〇	二四一	二四一
日窒	三	二四〇	二四一	二四一
日産	三	二四〇	二四一	二四一
日立	三	二四〇	二四一	二四一
満鉄	三	二四〇	二四一	二四一
東電	三	二四〇	二四一	二四一
鐘紡	三	二四〇	二四一	二四一
新興	三	二四〇	二四一	二四一
日鉄	三	二四〇	二四一	二四一
昭和肥	三	二四〇	二四一	二四一
日窒	三	二四〇	二四一	二四一
東方三菱	三	二四〇	二四一	二四一
新興	三	二四〇	二四一	二四一

株式
東京短期取組喰合

銘柄	限	前	後	引
東京短期取組喰合	三	二四〇	二四一	二四一

株式
東京短期前場

銘柄	限	前	後	引
東京短期前場	三	二四〇	二四一	二四一

株式
大阪長期前場

銘柄	限	前	後	引
大阪長期前場	三	二四〇	二四一	二四一

株式
東京長期前場

銘柄	限	前	後	引
東京長期前場	三	二四〇	二四一	二四一

株式
東京長期總取組

銘柄	限	前	後	引
東京長期總取組	三	二四〇	二四一	二四一

公債
東京國債前場

銘柄	限	前	後	引
東京國債前場	三	二四〇	二四一	二四一

爲替
外國爲替

銘柄	限	前	後	引
外國爲替	三	二四〇	二四一	二四一

爲替
神戸對外爲替前場

銘柄	限	前	後	引
神戸對外爲替前場	三	二四〇	二四一	二四一

肥料
大豆粕前場

銘柄	限	前	後	引
大豆粕前場	三	二四〇	二四一	二四一

穀肥
シカゴ小麥

銘柄	限	前	後	引
シカゴ小麥	三	二四〇	二四一	二四一

砂糖
倫敦

銘柄	限	前	後	引
倫敦	三	二四〇	二四一	二四一

砂糖
玖馬

銘柄	限	前	後	引
玖馬	三	二四〇	二四一	二四一

砂糖
爪哇

銘柄	限	前	後	引
爪哇	三	二四〇	二四一	二四一

人事
會事

▲臺北平　愛會員。主催日月潭遠遊。訂來十二夜行車出發。直至水裡坑。轉乘日動車到水社一泊。翌朝經魚池。司馬按車埔。南投。草屯。抵霧峰遊覽武陵堂民庭園。十四々從彰化乘車。十五朝臨北。旅費每人十五圓以內。參加者至十一日。須將現款交　幹事務所（電話四四六五）報名云。

▲厦門畫家　蔡麗哖氏。曾歷遊中南部各地寫畫。者番來新竹。即由新竹市　蔡麗澤書畫會主催。訂來三月十二日起三日間。在新竹市城隍廟公會堂。開個人書畫展覽會。歡迎一般往觀。

▲北斗郡北斗街實業協會長林伯餘氏。此回爲視察東部產業。八日搭乘基隆出發之筏　來九東上。行程　預定一週月間。

商況（九日）
米況

正米市況前場

銘柄	限	前	後	引
正米市況前場	三	二四〇	二四一	二四一

大阪期米前場

銘柄	限	前	後	引
大阪期米前場	三	二四〇	二四一	二四一

神戸期米前場

銘柄	限	前	後	引
神戸期米前場	三	二四〇	二四一	二四一

東京期米前場

銘柄	限	前	後	引
東京期米前場	三	二四〇	二四一	二四一

絲況

外國金塊

銘柄	限	前	後	引
外國金塊	三	二四〇	二四一	二四一

銀塊

銘柄	限	前	後	引
銀塊	三	二四〇	二四一	二四一

大阪人絹前場

銘柄	限	前	後	引
大阪人絹前場	三	二四〇	二四一	二四一

横濱生絲前場

銘柄	限	前	後	引
横濱生絲前場	三	二四〇	二四一	二四一

大阪棉花前場

銘柄	限	前	後	引
大阪棉花前場	三	二四〇	二四一	二四一

大阪棉絲前場

銘柄	限	前	後	引
大阪棉絲前場	三	二四〇	二四一	二四一

神戸棉前場

銘柄	限	前	後	引
神戸棉前場	三	二四〇	二四一	二四一

大阪綿絲前場

銘柄	限	前	後	引
大阪綿絲前場	三	二四〇	二四一	二四一

大阪濟算前場

銘柄	限	前	後	引
大阪濟算前場	三	二四〇	二四一	二四一

大阪砂糖前場

銘柄	限	前	後	引
大阪砂糖前場	三	二四〇	二四一	二四一

神戸豆粕前場

銘柄	限	前	後	引
神戸豆粕前場	三	二四〇	二四一	二四一

臺灣日日新報

本日夕刊共十六頁

發行所　臺灣日日新報社　電話二〇〇八番
印刷人　佐々木　印刷者兼代表者
臺北市北門町四丁目貳番地

將來の備に
生命保險

千代田生命

本社　東京丸ノ内
支社　臺北・新竹

毎年配當附養老保險に對し昭和十二年度も引續き四分五厘配當を實行致します

創業以來三十二年、急がず、休まず、堅實なる歩調を以て當社は常に前進を續けてゐます。
昨年度に於ても左の通り極めて優良なる成績を擧げました。

新契約高	三億百餘萬圓
年末契約高	十七億九百餘萬圓
年末資産	二億六千九百餘萬圓
保險金支拂高	千五百八十萬餘圓
加入者配當金支拂高	千百三十九萬餘圓
剩餘金	千六百六十一萬餘圓

第一回【臺灣山岳會會長 鹿子木員信先生題字】配本濟・見本進呈

全五册豫約募集

雜誌臺灣之友の附錄として大數學者を始めた名士約廿一名を驚かす好事家の滿足に答へるオフセット印刷で內容同樣

第一册	第二册	第三册
楷書手本	楷書手本	楷書手本
日下部鳴鶴	松本芳翠	楷書唐詩帖
書聖王羲之五言律六首	吉田秋鶴	楷書明治神宮御製之詩
相澤春洋	上田桑鳩	西脇代吾
相澤春洋	呉竹石	田呉秋洋
草行書常用漢字文	楷書常用漢字詩	草行書常用漢字文

第四册　楷書皇甫府君碑　歐陽詢
第五册　楷書九成宮醴泉銘　歐陽詢

第五册	調和體日野の閑居	假名和歌帖
本手式書	短冊書式	扇色紙書式
松下高士	神塚村人	松本秋峡
神郡太虛	高村竹洞	松本春坡

特價三月二十五日限り
申込不要　金壹圓一册　特價
總額四圓五十錢　壹圓一册　定價
（送料八錢）
（送料十四錢）

第三期豫約
全廿四卷
別冊本卷還本二十三册

目要行刊

概論	鑑定
古刀論	用語解說
新刀文珍	裝具書說
研磨	鍛錬
科學的	歷史的
實用話	鑑賞
補遺	

權威者揃ひの此の執筆陣容

| | | |

帝國議會に現れた南方問題
林内閣は認識を深めよ

一

國民の眼の中で解けんとしてどうしても解け難かつた、色々な事柄が、議會を通じて、充分とは言へないまでも幾分づつハッきりされつつある事は、議會政治の功徳であり、今議會の收穫の一つであらう。政府の考へて居る事が、外交にしても、軍事にしても如何なる方向に向つて、如何なる手段と方法とを以つて、どの程度にまで為されんとするかの意圖、方針が明瞭にされると云ふ事は、ひとり國民をして納得せしむる許でなく、諸外國の疑心暗鬼を挑拭し、世界の禍亂を緩和する上にも、多分に有效であらうと思はれる。此意味に於て、彼の廣田大臨政策なるものの宣揚がハクギリされ、又たは讀ふ所の南方政策なるものの意義も分明にされた事は、此國の言葉に必要も無い神經過敏症狀を呈してゐる諸外國に對しても、一般の國利國福であつたと言つて宜しく、初にその效能の齎り來るべき事を期待する。

二

今議會を通じて、今日までに現れ來り、論議を盡された所の南方問題に就て見るに、去月二十日の衆議院豫算總會並に同月二十八日の第一分科會に於て行はれた濱井兵五郎議員と林首相との質疑應答に依つて、略ぼ突込んだ所まで、政府の考へてゐる所は明らかにされ、之に依つて、林内閣の南方に對する認識の程度、意圖する方策も、略明瞭にされたのである。即ち濱井議員の「政府は大陸へ伸びんとする大陸政策と、海洋に伸びんとする南方政策と、何れを重く考へてゐるや」との質問に對して林首相は「國民の輿論はそれが海であれ、陸であれ、何れの方角に向つても為さるべきものであつて、何れが重く、何れが輕しと言ふ事はない、併し現下の帝國としては滿洲國との關係もあり、大陸に向つてより重大な關心が拂はれるのは止むを得ない、但しそれは國民輿論の上から何れを重しとし何れを輕しとするものではない」と答へてゐる。

三

言葉の用語の上からすれば、林首相の答弁には別に文句のつけ樣も無く、正にその通りであらう。即ち何れの方面たるを問はず平和的、經濟的に適當な地方へ向つてもつと言ふのである。併しその調和、調氣の上から云へば、林首相の關心は寧ろ、大陸へ向つてであつて、南方に關しては聊か輕視の傾きあるかの如き感を與ふるを免れ得ないのは、此處に於て、林首相乃至は林内閣全體に向つて、先づ注意を喚起して置き度い事は、南方政策の過去と云ふ事が、言ふは易くして行ふは容易に難き事であつて、その困難と困惱さに於ては決して對大陸方面の夫れに劣らぬと云ふ事である。

四

否、大陸に在つては、直接の交渉相手は支那であつて、所謂間接の關係に在るが、南方に於ては諸地方との一つの通商交渉にしても、運輸協定にしても、それは直接別個の關係になつて來るから、事態は仲々以つて面倒となつて來る。

此点が、先づ南方方面の事に當る者の苦心を要する所である。現内閣に在つても、苟くも南方の事に關心を有し、之を實現せんとするならば先づ此の困難なる点に關して認識を誤まざらんことを切望せざるを得ぬ。

五

同じく懸案中の關係ある對日經濟關係協約締結、ニューギニヤ租借問題等の如きも、對外關係の急迫せる如何と考へられたが、人口問題より生ずる經濟上の當然の必要に迫られた國民的要望に基くニューギニヤ開發に關しては、和蘭政府に於ても考慮の餘地ある意向を示してゐるのは、彼我の相互親善の上より欣快である。即ち南方問題は大體同樣に屬すると考らるが、我方の平和的眞精神と經濟上の差迫たる必要の事情が先方に諒察されつつある事は、議會政治の功徳であり、今議會の收穫の一つであらう。政府の考へて居る事が、外交にしても、軍事にしても如何なる方向に向つて、如何なる手段と方法とを以つて、どの程度にまで為されんとするかの意圖、方針が明瞭にされると云ふ事は、ひとり國民をして納得せしむる許でなく、諸外國の疑心暗鬼を挑拭し、世界の禍亂を緩和する上にも、多分に有效であらうと思はれる。此意味に於て、彼の廣田大臨政策なるものの宣揚がハクギリされ、又たは讀ふ所の南方政策なるものの意義も分明にされた事は、此國の言葉に必要も無い神經過敏症狀を呈してゐる諸外國に對しても、一般の國利國福であつたと言つて宜しく、初にその效能の齎り來るべき事を期待する。

二

今議會を通じて、今日までに現れ來り、論議を盡された所の南方問題に就て見るに、去月二十日の衆議院豫算總會並に同月二十八日の第一分科會に於て行はれた濱井兵五郎議員と林首相との質疑應答に依つて、略ぼ突込んだ所まで、政府の考へてゐる所は明らかにされ、之に依つて、林内閣の南方に對する認識の程度、意圖する方策も、略明瞭にされたのである。即ち濱井議員の「政府は大陸へ伸びんとする大陸政策と、海洋に伸びんとする南方政策と、何れを重く考へてゐるや」との質問に對して林首相は「國民の輿論はそれが海であれ、陸であれ、何れの方角に向つても為さるべきものであつて、何れが重く、何れが輕しと言ふ事はない、併し現下の帝國としては滿洲國との關係もあり、大陸に向つてより重大な關心が拂はれるのは止むを得ない、但しそれは國民輿論の上から何れを重しとし何れを輕しとするものではない」と答へてゐる。

三

言葉の用語の上からすれば、林首相の答弁には別に文句のつけ樣も無く、正にその通りであらう。即ち何れの方面たるを問はず平和的、經濟的に適當な地方へ向つてもつと言ふのである。併しその調和、調氣の上から云へば、林首相の關心は寧ろ、大陸へ向つてであつて、南方に關しては聊か輕視の傾きあるかの如き感を與ふるを免れ得ないのは、此處に於て、林首相乃至は林内閣全體に向つて、先づ注意を喚起して置き度い事は、南方政策の過去と云ふ事が、言ふは易くして行ふは容易に難き事であつて、その困難と困惱さに於ては決して對大陸方面の夫れに劣らぬと云ふ事である。

四

否、大陸に在つては、直接の交渉相手は支那であつて、所謂間接の關係に在るが、南方に於ては諸地方との一つの通商交渉にしても、運輸協定にしても、それは直接別個の關係になつて來るから、事態は仲々以つて面倒となつて來る。

此点が、先づ南方方面の事に當る者の苦心を要する所である。現内閣に在つても、苟くも南方の事に關心を有し、之を實現せんとするならば先づ此の困難なる点に關して認識を誤まざらんことを切望せざるを得ぬ。

五

同じく懸案中の關係ある對日經濟關係協約締結、ニューギニヤ租借問題等の如きも、對外關係の急迫せる如何と考へられたが、人口問題より生ずる經濟上の當然の必要に迫られた國民的要望に基くニューギニヤ開發に關しては、和蘭政府に於ても考慮の餘地ある意向を示してゐるのは、彼我の相互親善の上より欣快である。即ち南方問題は大體同樣に屬すると考らるが、我方の平和的眞精神と經濟上の差迫たる必要の事情が先方に諒察されつつある事は、議會政治の功徳であり、今議會の收穫の一つであらう。政府の考へて居る事が、外交にしても、軍事にしても如何なる方向に向つて、如何なる手段と方法とを以つて、どの程度にまで為されんとするかの意圖、方針が明瞭にされると云ふ事は、ひとり國民をして納得せしむる許でなく、諸外國の疑心暗鬼を挑拭し、世界の禍亂を緩和する上にも、多分に有效であらうと思はれる。此意味に於て、彼の廣田大臨政策なるものの宣揚がハクギリされ、又たは讀ふ所の南方政策なるものの意義も分明にされた事は、此國の言葉に必要も無い神經過敏症狀を呈してゐる諸外國に對しても、一般の國利國福であつたと言つて宜しく、初にその效能の齎り來るべき事を期待する。

二

今議會を通じて、今日までに現れ來り、論議を盡された所の南方問題に就て見るに、去月二十日の衆議院豫算總會並に同月二十八日の第一分科會に於て行はれた濱井兵五郎議員と林首相との質疑應答に依つて、略ぼ突込んだ所まで、政府の考へてゐる所は明らかにされ、之に依つて、林内閣の南方に對する認識の程度、意圖する方策も、略明瞭にされたのである。即ち濱井議員の「政府は大陸へ伸びんとする大陸政策と、海洋に伸びんとする南方政策と、何れを重く考へてゐるや」との質問に對して林首相は「國民の輿論はそれが海であれ、陸であれ、何れの方角に向つても為さるべきものであつて、何れが重く、何れが輕しと言ふ事はない、併し現下の帝國としては滿洲國との關係もあり、大陸に向つてより重大な關心が拂はれるのは止むを得ない、但しそれは國民輿論の上から何れを重しとし何れを輕しとするものではない」と答へてゐる。

三

言葉の用語の上からすれば、林首相の答弁には別に文句のつけ樣も無く、正にその通りであらう。即ち何れの方面たるを問はず平和的、經濟的に適當な地方へ向つてもつと言ふのである。併しその調和、調氣の上から云へば、林首相の關心は寧ろ、大陸へ向つてであつて、南方に關しては聊か輕視の傾きあるかの如き感を與ふるを免れ得ないのは、此處に於て、林首相乃至は林内閣全體に向つて、先づ注意を喚起して置き度い事は、南方政策の過去と云ふ事が、言ふは易くして行ふは容易に難き事であつて、その困難と困惱さに於ては決して對大陸方面の夫れに劣らぬと云ふ事である。

四

否、大陸に在つては、直接の交渉相手は支那であつて、所謂間接の關係に在るが、南方に於ては諸地方との一つの通商交渉にしても、運輸協定にしても、それは直接別個の關係になつて來るから、事態は仲々以つて面倒となつて來る。

所謂、庶政一新の内容を明確にす
貴族院豫算總會に於て
林首相が野村子の質疑に明答

【東京九日發】貴族院豫算總會は午後一時四十一分開會、第一陣を承つて一條公爵の登壇を見た。

一條公　今回の總辭職は内外の情勢を察した後とて大なるものに國民がよくその頁担に堪へ得る樣に擧國一致の體制を整へ、擧國一致の基礎に於て、内外の難局に當らんとするの意圖に出でたものと思ふ、而して其の内閣は擧國一致の内閣たるべきものと思ふ、然るに今回の内閣は擧國一致の内閣と言ふ事が出來ない、之は如何なる理由に基くものであるか、又た擧國一致の内閣たらざる内閣を以て、如何にして此の難局に當らんとするのであるか、此の点に關して先づ第一に伺ひたい。

首相　私共の考へる擧國一致の内閣とは、皇國本位の國體觀念に基き、擧國一體の精神に於て、内外の難局に當らんとするものであります、從つて擧國一致の内閣たらざる内閣を以て、如何にして此の難局に當らんとするのであるかと云ふ御質問でありますが、私共は擧國一致の内閣たらざる内閣を以て此の難局に當らんとするものではありません、擧國一致の内閣たるべきものと考へて居ります、從つて擧國一致の内閣たるべきものと考へて居ります、從つて擧國一致の内閣たるべきものと考へて居ります、從つて

我國消費組合の全貌と實績

生活窮乏に拍車され向上　職業別では官公吏が一番

最近我が國に於ける物價に一般に騰貴し、その騰貴率は英、米、佛の各國を凌ぐ傾向に在るが、この經濟に伴ふ消費組合運動の現勢は如何に變遷を來たしつゝあるかは、大衆の生活安定上重大なる關係を有するものである。茲に昭和十一年十一月末のものが、昭和十二年三月末の一〇二・九を基準とし一〇三・三に比すると逆に低下してゐる狀態である。從つて、中小商業の生活は益々壓迫化するに至つて居り、消費組合の合理化が再檢の形勢に在ることを示すものである。更に十年末は總數の四割八分に當る組合の調査を行ふところあつた、いま右調査によりその概要を示すと次の如くである

先づ消費組合を構成する組合員數を見ると、五百人以下の組合が、全國調査組合數百七十八の內九十六を占めてゐる、この率は我國消費組合の活動規模が概ね小であることを示すものである、更に十年末は總數の百七十八組合の職別構成員數を見ると、次の如く、官公吏及教員で四割一分を占め、諸外國の消費組合が勞働者及農業者を主要構成者としてゐる點とは、根本的に相違するものがある

職業別　實數　割合
官公吏並教員　九、〇六一人　四一・一%
銀行會社員　二四、九八三　一一・一
商工業者　五五、五八一　二五・〇
自由職業者　三、四九四　一・二
其の他　一五、〇七七　六・八
合計　二二一、九九五　一〇〇

右の理由は、我が國は諸外國に比して官公吏、教員の數が相對的に多數を占め、然もこれ等の人々は勞力的に勞働に在るが、この經濟に伴ふ消費經濟に對する關心が薄いこと、又我國產業の四分は男子で消費經濟に對する關心が薄いこと、又我國產業の四分の後退に拍車され向上して居り、消費組合の大部分は婦人で、寄宿舍に收容され會社直營の月用品配給を受けてゐる爲、消費組合が設立されない傾地が少いこと、又全產業の根據をなす金融干渉及交通關係の勞働者は、殆ど男子であるが、これ等產業の中心的なものは殆ど皆實

又は半官營で、これ等の勞働者を制度に、會社直營或は共濟組合の經營と云ふ形態によつて、日用品の配給がされてゐるから、消費組合發達の基礎がない

次に、消費組合の組織狀態を見ると、最近組織內容は著しく向上し一組合當の組合員は次の如くである

年次　購買品賣却高　剩餘金
七年　九七・四〇　二・三五
八年　一一一・〇八　二・四五
九年　一二二・五〇　二・三六
十年　一三五・六一　二・九五

何全國組合數は二百十三、組合員數二十二万一千九百九十四人、借入金二百十九万四千七百八十一円、購買品賣却高三千十万三千四百八十五円、實上米收金二百三十七万四千二百四十五円、剩餘金六十五万四千四百三円となつてゐる

懸案の葉製樟腦

高知より招聘の市村技師着任　愈々製造に乘出す

樟腦製造に關する研究に關しては、從來總督府殖產局に於て、專ら生產費の點に於て研究を重ねて來たし、殊に大正八年度の樟腦生產奬勵施設がそれに拍車をかけ、現在では同島の生產年額七、八万斤の約三割が製腦に依るものである市村氏は高知縣樟腦組合の嘱託技師として十數年間在職し多大の功績を遺して居た人で

葉製樟腦界　では唯一無二の實地經驗家であつて今川專賣局長の嘱託に對し大藏省收納課長の推薦に依り今回我が專賣局に就任することとなつたものである、この葉製樟腦の事は本島に於ては既に大正八年中台中州下東勢に於て試製せられ、次で同十三、四年頃迄には年生產額が增加して僅かながら新業に一段の進展を來たし、殊に大正十年度の如きは一躍して一万斤の生產を擧げ、一時は一万五千斤の生產を見るに至つたが、其の後は漸次減退の一路を辿り、昨年度の如きは僅かに二千斤の生產を見るに過ぎない狀態である、從つて從來の製腦業者は殆ど其の跡を絶つに至つたが、其の原因は樟腦の製出に要する燃料の供給が充分でないこと、製腦に適する樟腦の採取が困難であること、製腦に適する樟腦の採取が困難であること、製腦に適する樟腦の採取が困難であること